

資料編

南魚 企画 第 172 号

平成 18 年 2 月 20 日

南魚沼市総合計画審議会

会長 宮下 茂 様

南魚沼市長 井 口 一 郎

第 1 次南魚沼市総合計画基本構想の諮問について

第 1 次南魚沼市総合計画を平成 18 年 3 月に定めたく、基本構想についてご審議願ひ、
忌憚のないご意見をいただきますよう諮問申し上げます。

平成 18 年 2 月 20 日

南魚沼市長 井 口 一 郎 様

南魚沼市総合計画審議会

会 長 宮 下 茂

第 1 次南魚沼市総合計画基本構想について（答申）

平成 18 年 2 月 20 日付け南魚企画第 172 号で諮問のありました第 1 次南魚沼市総合計画基本構想について、当審議会において慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり答申します。

記

第 1 次南魚沼市総合計画基本構想に関する答申

諮問案は、合併後のまちづくりの課題と環境を的確にとらえ、これから 10 年間の総合的かつ計画的な行政運営の指針として概ね適切なものでありました。

審議の結果、諮問案に一部修正を加え補完するよう、次のとおり答申します。

【追加すべき項目】

南魚沼市では、これまで学校教育、社会教育、保全活動などで環境教育に取り組んできました。これらの活動の連携を強化し発展させ、地域の自然や伝統に触れる体験を積極的に提供し、市民の環境への意識を高め、持続可能な地域社会を構築することが求められています。

このことから政策大綱 2 「教育・文化」に「野外・環境教育」を施策として追加し、積極的に野外・環境教育に取り組むことを望みます。

第1次南魚沼市総合計画審議会委員名簿

任期 平成17年12月1日～平成19年11月30日

選任区分	氏名	行政区	備考
1号委員 議会議員	中沢 一博	五日町2区	
	今井 久美	津久野	
	佐藤 剛	天王町	
	井上 正三	一村尾	
	関 昭夫	早川	
	腰越 晃	坪池	
2号委員 知識経験を 有する者	塩谷 成一	三分区	塩沢上町商店街
	峠 英男	樺野沢	上越国際観光協会
	宮下 茂	八幡	六日町商工会 (審議会会長)
	羽賀 正雄	県外	東京やまと会
	南雲 道幸	県外	首都圏六日町会
	黒井 安雄	浦佐八色	大和郷土地改良区
	上村 久太郎	芋赤	JA魚沼みなみ (審議会副会長)
	鈴木 利子	小栗山	南魚沼連合婦人会
	高野 孝子	大沢	NPO法人 ecoplus

※ 第1回審議会において、会長に宮下茂氏、副会長に上村久太郎氏を選出



総合計画審議会

第1次南魚沼市総合計画策定経過

年月日	内容	摘要
H17.6～	□基本構想に関する課内検討	
H17.7.15	□NPOぐんまと委託契約	
H17.8.1	□庁内ヒアリングの実施(課長、係長他)	
H17.8.12～	□ヒアリング内容についての論点確認 □事業体系対照表作成	
H17.8.26	□第1回総合計画策定委員会	策定委員:職員 11名
H17.9.14～	□各分野の事業計画の状況一覧表作成	
H17.10.1	□塩沢町との合併	
H17.10.6	□市長ヒアリング □第2回総合計画策定委員会	
H17.10.20	□総合計画基本構想(素案)の作成	
H17.10.25	□各課長による素案の内容検討会議	
H17.11.4	□第2回大和地区地域審議会 ⇒総合計画政策大綱案の説明	地域審議委員:15名
H17.11.7	□第1回塩沢地区地域審議会 ⇒総合計画政策大綱案の説明	地域審議委員:15名
H17.11.10 ～11.25	□ホームページでパブリックコメント募集 4名から20項目について意見が寄せられる	
H17.11.9 ～12.8	□塩沢地域市政懇談会⇒総合計画政策大綱案の配布	
H17.11.30～	□基本構想(案)作成 □各課による確認と修正作業	
H18.2.6	□第1回総合計画審議会 1)基本構想(案)の説明	審議委員:15名
H18.2.10	□第3回大和地区地域審議会 1)基本構想の諮問	
H18.2.13	□第2回塩沢地区地域審議会 1)基本構想の諮問	
H18.2.20	□第2回総合計画審議会 1)基本構想の諮問(別紙のとおり答申を受ける) 2)基本計画の説明	
H18.3.22	□第1次南魚沼市総合計画基本構想議決	

1 人の南魚沼サポーターとして

六日町最後の総合計画となった第6次総合計画を住民の手で作るということで、座回し役、行政や議会との通訳係としてお伺いする機会を与えられてから5年、大和町・塩沢町と合併して一回りも二回りも大きくなり、その名も南魚沼市となった、この地域の総合計画のとりまとめに再びお伺いすることになるとは、奇しきご縁と言うしかない。

この5年間の日本社会の変化には大きなものがあった。とくに地方が直面せざるをえなかった変化は革命的とも言えるものだった。地方分権、国と地方の対等の関係、自主・自立のまちづくりと言えば聞こえはいいが、国は借金で首が回らないから地方への仕送りはもうできない、地方交付税は大幅に減らさざるを得ない、だから合併してくれ、国は明確な国家・国民目標を地方に示せないから、地方独自で頑張ってくれというものだった。

国のこの一大政策転換で、地方は、二重の財政苦に陥らざるをえない。一つは、全廃さえ噂される地方交付税そのものの大幅な縮減、二つは、補助裏と言われる、国補助金を得て事業を行うためには必要な地元負担、そのための借金(公債費)の累積増加である。このことが、南魚沼市財政を非常に厳しい状況に追い込んでいる。

しかし、それは、市民が無駄遣いをしてきたからではない。旧3町、現南魚沼市の執行部や議会が失政を行ったからではない。国の政策に準じて進めてきた結果である。このことを、胸を張って自覚し主張していただきたい。同時に、そうした厳しい現実から目をそらさず、現実を共有するところから、新しい都市づくりを進めていきたいものである。そのため、本総合計画では、異例ではあるが、「財政の状況および課題」を基本構想に組み込むこととした。このことは、実は、総合計画審議会での指摘によるものである。

そうした審議会のあり方や六日町最後の総合計画で実感できた市民主体のまちづくり、職員の真摯な事業執行だけが、厳しい財政状況を克服して、わが国社会に南魚沼市・南魚沼市民ありと知らせる王道である。南魚沼市は、それができる都市である。職員の方々の日々の意見交換や共同作業で、その実感はさらに高まっている。許されるなら、今後とも、行財政改革や各種計画の立案・進行管理に参画して、達成の道をともに歩みたいものである。

一方で、事業を実施し、市民が「この地に生まれてよかった」と実感できるには、解決しなければならない課題が多々あることも事実である。中には、県や国との調整なしには市民の要望を解決できない課題や技術的財源的な制約が大きい課題もある。健康の杜構想や道路・公共交通網の整備・充実、地盤沈下対策と新たな消融雪方法の推進などは、その一例である。そのためには市民一丸となつての事業促進の押し上げがのぞまれる。

しかし、それ以外では、市民自らが一步踏み出すことで、大きく前進できる課題が多い。例えば、南魚沼産コシヒカリという世界一おいしい米を、来訪者にこの地で食べさせる工夫、それと一体となった空き地・空き店舗の利・活用。首都圏在住の南魚沼出身者の方々や国内外の友好親善・姉妹都市の参加と連携を得ての特産品の販売と観光客の誘致。このことも、審議会で首都圏在住の方々から提案されたことである。スキーと野外・環境教育、自然・文化遺産や各種産業をタイアップさせた南魚沼だからこそ出来る新たなグリーン・ツーリズム。多様な高等教育機関を活用した福祉・医療や文化・スポーツの振興……。

上に述べたことは、ほんの思い付きである。しかし、これまでのお付き合いで感じたことを忌憚なく申せば、南魚沼の皆さんは、素晴らしいアイデアと実行力を持ちながら、提案することに遠慮しすぎであるように思う。現に皆さんが遠慮しているうちに、他地域の人々は、新潟産コシヒカリの名前のおにぎりや商品を次々と首都圏に売り込み始めている。その現実を前に、南魚沼サポーターの私としては、歯がゆさと悔しさを隠せない。

「自然・人・産業の和で築く 安心のまち」をつくるには、提案し合い評価しあって和を作っていくことが第一であることを強く意識していただければと願っている。

(特定非営利活動法人 NPO ぐんま 熊倉浩靖)

あとがき

合併前に検討された新市将来構想は、多くの市民の参画を得て、延べ 48 回にわたる議論を経ながら策定されました。また、合併の要件である合併後のまちづくり計画(新市建設計画)はこれを基本に策定されています。今回策定した基本構想は、当該地域の発展のために立てられる各種具体的な計画のすべての基本となるものであり、地方自治体の憲法と位置づけられるものです。合併により空白となっているこの策定を急ぐ背景にありました。

こうしたことから南魚沼市の第一次総合計画は、市民の意見が反映されているこの新市将来構想を軸として、それぞれ合併前の各町の特色を活かすことを基本に素案を策定し、市民にはパブリックコメントを求め、また、大和、塩沢地区の各地域審議会や南魚沼市総合計画審議会に諮り、これらの答申結果を踏まえながら短期間に策定したものであります。

作業に当たっては NPO ぐんまの熊倉先生はじめ長谷川研究員、飯島研究員のアドバイスをいただき、各担当課と今後 10 年間の将来像実現に向けた基本施策を練り直しながらまとめました。

今回、本計画のとりまとめをいただいた NPO ぐんまは、民間シンクタンクとして活動しておりますが、行政に対する深い知識を有し、本市の計画策定に熱意をもって作業を行なっていただきました。また、最後に熊倉先生より暖かいメッセージをいただきましたので本計画書に添付してあります。本計画の着実な推進を図ることがこのメッセージに対するお礼と考えております。

平成 18 年 3 月 事務局 企画情報課



第1次南魚沼市総合計画

平成18年3月
新潟県南魚沼市 企画情報課

〒949-6696 新潟県南魚沼市六日町180番地1
TEL025-773-6672 / FAX025-772-3055
<http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/>
E-mail info@city.minamiuonuma.lg.jp